

ウイルス分離及び抗原検出情報 2015年～2016年

ウイルス分離(仙台市内医療機関)

	第51週(最終)	第52週(中間)	第53週(中間)	第1週(中間)
	12月14日～	12月21日～	12月28日～	1月4日～
インフルエンザウイルスA(H1)型	0	0	0	0
A(H3)型	0	0	0	0
B型(山形系統)	0	0	0	0
B型(ビクトリア系統)	0	0	0	0
C型	2	0	0	0
解析中	0	0	0	0
RSウイルス	7	0	0	3
ヒトメタニューモウイルス	1	0	0	0
ムンプスウイルス	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	0	0
エンテロウイルス	0	0	0	0
ライノウイルス	2	0	0	0
単純ヘルペスウイルス	1	0	1	1
サイトメガロウイルス	2(1)	1	0	0
パラインフルエンザウイルス				
1型	1	0	0	0
2型	0	0	0	0
3型	0	0	0	0
4型	0	2(1)	0	0
解析中	0	0	0	0
未同定	0	0	0	0
分離総数/検体総数	17/52	3/25	1/5	4/27

抗原検出状況(仙台医療センター)

	第51週	第52週	第53週	第1週
	12月14日～	12月21日～	12月28日～	1月4日～
インフルエンザウイルス	0/37	0/38	0/36	0/48
A型	-	-	-	-
B型	-	-	-	-
RSウイルス	2/22	4/15	1/3	2/10
ノロウイルス	1/4	1/7	1/3	0/7
ロタウイルス	0/4	0/7	0/3	0/7
アデノ(便中)	0/4	0/7	0/3	0/7
アデノ(呼吸器)	0/22	0/16	0/11	1/8
アデノ(眼科)	0/0	0/0	0/0	0/0
※溶連菌	1/12	1/11	0/6	0/2
水痘帯状疱疹	0/0	0/0	0/0	0/0
単純ヘルペス	0/0	0/0	0/0	0/0

今週のコメント:

- ①インフルエンザウイルスにつきまして、2015年よりワクチン株がA(H1)型、A(H1)型、A(H3)型、B型(山形系統)、B型(ビクトリア系統)の4株となったことから、2015年第50週の週報よりB型を山形系統とビクトリア系統に分けて表記いたします。
- ②麻疹ウイルスにつきまして、現在ウイルスセンターでウイルス分離に用いている細胞では分離が困難なことから、2015年3月にWHOより日本が麻疹の排除状態であるとの認定がなされ、患者数も減少していることから、2015年第50週の週報より表記を行わないことといたします。
(文責: 大宮)

なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。
*永井小児科医院、庄司内科小児科医院、仙台医療センター

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
臨床研究部ウイルスセンター 2016年1月12日